

将来にわたって旅行者を惹きつける地域・日本の新たなレガシー形成

事業概要

- 持続的な観光地経営の実現を図るためには、将来にわたって国内外から旅行者を惹きつけ、継続的な来訪や消費額向上につながるよう、地域・日本のレガシーとなる観光資源を形成することが重要。
- こうした地域のレガシー形成には中長期的な事業実施が必要であるため、地域と連携しつつ、レガシー形成に関する実現可能性調査やプラン作成等を行う。

事業内容

取組内容：

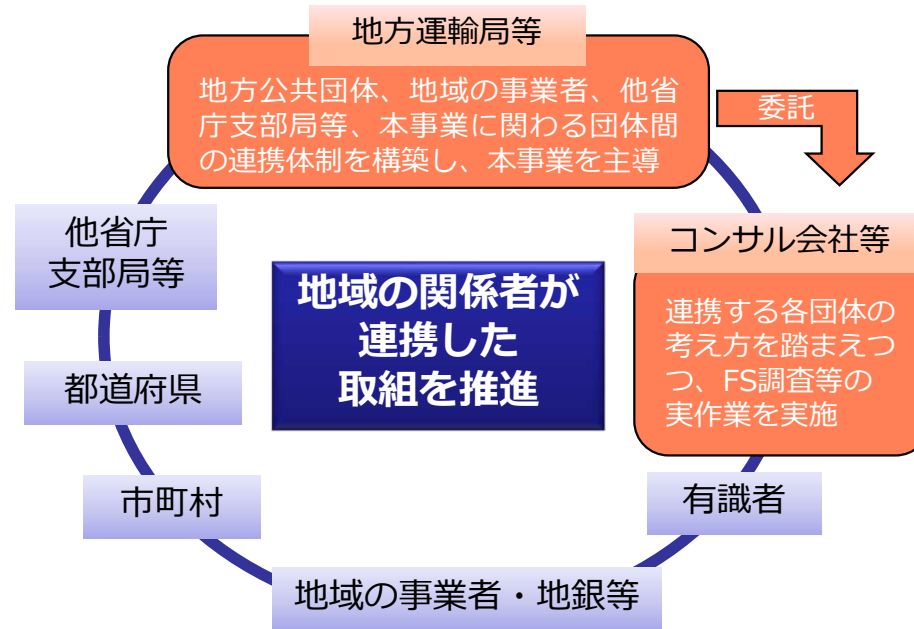
地域におけるレガシー形成を促進するための以下の取組

- ・ 実現可能性調査（FS調査）
- ・ 調査結果を踏まえたプラン作成等

実施主体：

地方運輸局等
(地方公共団体等と連携)

実施体制（イメージ）



面的なレガシー形成のイメージ

レガシー形成の考え方：

1. 地域において最も輝いていた時代の建築物や文化を面的に再現し、活用していく取組
2. 地域で脈々と受け継がれてきた自然・景観、食、文化、遺産（日本遺産、重要文化財、伝統技術等）等を、面的に又は線で再現し、活用していく取組
3. 地域における自然・景観、食、文化、人（住民）と、アートなど新しく創出した資源との融合により、地域に人々を惹きつける取組
4. シンボリックで一点豪華主義なものを創出していく取組

令和5年度「将来にわたって旅行者を惹きつける地域・日本の新たなレガシー形成事業」採択事業

レガシー形成候補（事業名）	実施主体
信長公の戦国城下町における芸舞妓「御伽衆」の文化再構築と遊宴文化レガシー形成事業	特定非営利活動法人 ORGAN (岐阜市)